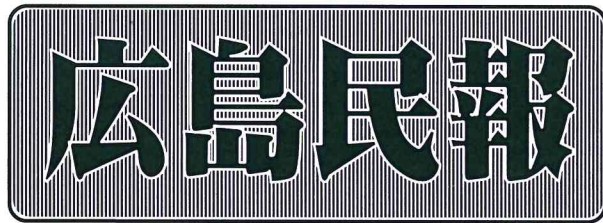


候補者別投票結果

Table with columns for election type (e.g., 呉市議選, 尾道市議選, 東広島市議選, 坂町議選), candidate name, and vote count. Includes sub-sections for '当' (winning) and '無新' (no new) candidates.



Publication information including date (2023年5月14日), issue number (第2670号), and contact details for Hiroshima Minpo.

統一地方選後半戦で日本共産党 呉市で2議席回復

尾道、東広島、坂は議席維持

統一地方選後半戦で各議員選挙に7人が立候補して6人が当選は、4月23日投票の呉、尾道、東広島の3市、前回比で1議席増と、18日告示の坂町の定数32の呉市議選



呉市議選での2議席回復を喜ぶ奥田(右から3人目)、久保(その左)両氏と支援者



呉市 奥田和夫氏



呉市 久保東氏



尾道市 岡野長寿氏



尾道市 魚谷悟氏



東広島市 谷晴美氏



坂町 向田清一氏

定数28の尾道市議選では、岡野長寿氏(65)が9期目の当選を果たし、現職の三浦徹氏の勇退で再選された。

統一地方選挙の後半戦の目標は、呉市と東広島市で1議席増の2議席、尾道市と坂町でそれぞれ2議席、1議席の確保でした。結果は、呉市で奥田和夫

谷晴美氏の1議席にとどまり、森真理子氏(元)は届きませんでした。坂町は現職の向田清一氏が無投票で議席を維持しました。全体として1議席増となりました。

選挙戦は呉市が定数32に40人、東広島市が定数30に40人、尾道市が定数28に33人の立候補という多数激戦になりました。そのなかで日本共産党は、ピラや候補者の演説などで議員・団の実績、打ちを押し出し、公約を語るとともに、岸田政権の大軍拡を告発し、戦争の準備はな

く平和の準備こそが大切だと訴えました。多数激戦にもかかわらず、投票率は3市とも過去最低を更新しました。日本共産党の候補者の合計得票は呉市が3

核兵器禁止条約への参加、岸田政権の大軍拡や悪法強行を許さないたたかいをはじめ公約実現へ頑張ります。

登板した市議5期の魚谷悟氏(74)が元が勝利し、現有2議席を確保しました。定数30の東広島市議選では、谷晴美氏(63)が5期目

の当選で、現有1議席を確保。市議2期で前回5票差の次点で惜敗した森真理子氏(62)が元は及びませんでした。

どまり、森真理子氏(元)は届きませんでした。坂町は現職の向田清一氏が無投票で議席を維持しました。全体として1議席増となりました。

542票(4.43%)、前回4112票(4.62%)、東広島市が2408票(3.95%)、前回2667票(4.43%)で得票率とも前回を下回りました

紹介され、その中で「無意識のそのひと言の罪深さ」が心に残り、3年前の日本共産党第28回大会で、ジェンダー平等を求める運動が提起され、志位委員長は報告の中で「学び、自己改革する努力が必要」と強調しました。3年あまりの中で、社会進歩を求める人々の中で、どれだけ自己改革が進んだのでしょうか。私自身、日々の暮らしや活動の中で自分の中に染み込んでいる「女はこうあるべき」「選挙のアナウンサーは女性」などを自己点検しています。身近な人からの「無意識の一言」に傷つき疲れて、その活躍の場を去らざるを得なかった女性がどれだけいることでしょうか。このようなことが続けば、社会進歩の運動にとっても、社会にとつても大きな損失です。無意識の一言は、その人の人権感覚から無意識に発せられ、人を傷つけていることに気づかない罪深さがあります。「無意識の一言」を点検と学習を強めませんか。

地下水

5月1日開催された広島県中央メーデーで、ジェンダー川柳が